

# 山口市芸術家育成支援事業

## 第9回やまぐち新進アーティスト大賞

### 第9回やまぐち新進アーティスト大賞受賞者

よしむら たいせい  
吉村 大星

応募アーティスト数 : 15名

最終選考ノミネート者 : 10名

おおた けい  
大田 慶 (22)

しらいし えつこ  
白石 悦子 (35)

しらべ きみこ  
調 喜美子 (59)

すすき けいじろう  
鈴木 啓二郎 (35)

たかはし もとすけ  
高橋 基介 (30)

テラダ サチコ (31)

むかいだ みほ  
向田 美保 (26)

やまと けいた  
大和 佳太 (31)

よしむら たいせい  
吉村 大星 (24)

よろずあーと  
YorozuArt (40)

(50音順・敬称略、年齢基準日：審査日)

### (総評)

9回目のやまぐち新進アーティスト大賞の選考は、各委員による投票の結果、獲得数上位の10名が第2次選考にノミネートされた。続いて、委員による自由な感想・意見を交換した後、投票により吉村大星氏が大賞候補者として選出された。吉村氏の色鉛筆画は、父親の故吉村芳生氏と共に、徳地船路のアトリエで作成され、独学による大星流写生画を産み出している。自ら撮影した猫の写真と対峙しながら、写生を超えた愛着すら感じる作風を展開している。

(第9回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員長 足立明男)

(やまぐち新進アーティスト大賞選評)

写真をもとに色鉛筆で描かれた作品。猫の毛や植物などの表現の緻密さと、ピンボケの背景の非現実的な浮遊感、部分的に鮮やかに強調された色彩などがあいまって、奥行きが見えないにもかかわらず妙にリアルな、不思議な空間が生まれている。

対象が愛着のある猫であるがゆえに、これほどの作品が描けるのだろう…とも考えてみるが、一鑑賞者の勝手な言い分として、ぜひ、他のものを描いた大作も見てみたい。作家はこれから立体作品にも挑戦したいと言う。楽しみに待ちたい。

(第9回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員 斎藤郁夫)

・・・第9回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員・・・

足立 明男 (山口情報芸術センター館長)

石崎 泰之 (山口県立萩美術館・浦上記念館学芸専門監)

兼原 啓二 (山口短期大学教授)

斎藤 郁夫 (山口県立美術館副館長)

水谷由美子 (山口県立大学国際文化学部長)

大和 保男 (陶芸家)

(50音順・敬称略)